



済生会

わかやま

NEWS

第7号

発行日: 2006. 1

～「基本方針」～

- 1、救急対応と急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
- 2、患者様の立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
- 3、透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし相互信頼を確保する。

— Information —

新年のごあいさつ

— 苦情は宝 —

明けましておめでとうございます。済生会和歌山病院も現在地に移転して3年目に入りましたが、医師不足、ナース不足などの難問を解決できずに年を越しました。これは、医療界を取り巻く環境の急激な変革と経済構造の変化によるもので、すぐには解決できそうにありません。しかしその中で、救急医療、急性期医療、医療安全、病診連携など基本方針の達成をめざして一生懸命頑張っておりますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

今年は、年頭に当たって「苦情は宝」という言葉を広めたいと思っています。当院は「家族が診てもらいたい病院」を合言葉に、医療安全と医療の質向上に努力していますが、まだまだ、患者さんにお叱りを受けることが間々あります。先日も、患者さんから採血させていただいた血液試験管を紛失し、大変ご迷惑をおかけしました。幸い間もなく発見され事なきを得ましたが、発見のきっかけになったのが患者さんからの苦情でした。もし、苦情がもう少し遅かったら、試験管を紛失したまま検査不能になっていたはずです。

To err is human. (人は必ず間違いを犯す) という有名な言葉があります。医療安全には、ミスをおかないシステム (fool proof system)、ミスをおしても被害が出ないシステム (fail safe system) を作るのと同時に、ミスをおかない注意が何より大切です。しかし、医療を行うのが人間である以上、必ず間違いを起すことがあるのです。だから患者の皆様、おかしいなと思えば遠慮なくご意見でも、苦情でも結構です、何でもおっしゃって下さい。苦情は宝です。苦情を言われるのは悔しいですが、悔しい思いをしなくてすむようにと努力するから人は進歩するのです。人は過ちから学ぶという言葉もあります。人生を振り返ってみると、苦しみに耐えること、苦情から学び、失敗から勉強できることのほうが多いはず。今後も、より良い病院をめざして職員一同努力しますので、どうぞ遠慮なく苦情を言っていただきたいと思います。

それでも苦情を言われて嬉しい人はありません。最近、苦勞に耐えられずに挫折したり、苦情を言われると切れてしまう若者が増えているそうです。どうか若いナース(?)には、やんわりと、上手に苦情を言っていただけると院長としては嬉しいのですが……。



院長 林 靖二

低侵襲人工股関節置換術

副院長 松崎 交作

50代から70代の女性に多く見られる、変形性股関節症、関節リウマチ、大腿骨頭壊死等によって壊れた股関節は運動制限と疼痛を伴います。この症状を改善するために、股関節を人工（金属製とプラスチック製）のものに置き換える手術を人工股関節置換術といいます。現在日本国内では、年間約30,000件近い人工股関節置換術が行われていますが、一般的な人工股関節置換術では、術後しばらくは安静が必要で2~3ヶ月間の入院生活が必要です。しかし最近では、入院期間を飛躍的に短縮し、患者さんの負担（筋力低下、体力、痛み）を軽減するMIS（= Minimally Invasive Surgery低侵襲手術）という画期的な手術手技が開発され、学会、医療現場等で注目されています。



従来の人工股関節置換術では、手術の操作性と視野の確保のため大きな（15~20cm）皮膚切開が必要で、さらに筋肉も切開するため侵襲を伴います。MISではわずか8cm前後の小さな切開で手術が可能ですが、残念ながらやはり筋肉の切開が必要です。そこで当科では、2004年5月から、筋肉を切開しない2箇所切開法という特別な低侵襲手術を行っています。これは二箇所の皮膚切開（4cmと5cm）で、筋肉などを傷つけずに関節を置き換える手術方法です。この方法では手術後の痛みは軽減され筋力もよく温存されるので、手術翌日から伝い歩き、車椅子移動などの早期リハビリテーションが可能となり、入院期間も従来の手術方法に比べ半分以下になりました。当科では、2箇所切開法の術後は3週間の入院期間を予定していますが、わずか2週間で退院する患者さんも多数います。この方法は患者さんの早期退院、早期社会復帰が可能になる、画期的な手術方法であるといえるでしょう。この最新の手術方法は、欧米でもまだ限られた病院でしか行われていません。日本でもごく限られた整形外科医がこの手術テクニックを使って人工股関節置換術を開始しています。当科では2005年12月現在で、すでに100件以上の2箇所切開法による手術を行い十分満足な結果を得ています。

手術室・中央材料室のご紹介

看護師長 田村 愉香

手術室・中央材料室のスタッフは、看護師長1名、副主任1名、看護師7名、准看護師1名、看護助手2名で業務を行っています。

中央材料室では、各科で必要とする衛生材料や、器械類の洗浄から滅菌などを行い、責任を持って各部署に供給しています。患者様一人一人に安全な治療を受けて頂けるように、滅菌物の品質管理に努めています。

手術室では、月曜日から金曜日まで、整形外科・外科・心臓血管外科・脳神経外科・耳鼻科・眼科・循環器科・腎センターなどの手術が行われています。

手術室は3室あり、各科協力のもと、年間約1100症例の手術が行われています。看護の一つとして、手術を受ける患者様に対して術前訪問を行っています。訪問時に手術室の様子を写真にしたパンフレットをお見せして、患者様やご家族の不安が少しでも解消できるように努めています。

手術室看護の目標は、患者様の生命の安全と心身の安楽を保証することです。手術室看護師は、患者様が安全で安楽な手術が受けられるように手術室の環境を整えると共に、手術時間の短縮が図れるよう日々努力しています。

これからも、患者様の信頼にお答えできるよう、スタッフ一同努力を重ねていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。



診療情報管理士のご紹介

情報管理課主任 岩井 伸浩

診療情報管理士 あまり聞き慣れない職種と思われませんが、約30数年の歴史があるそうです。資格取得者は、現在数千人が持たれているそうですが、和歌山県内でその資格で勤務されている人は他府県に比べて少ないようです。



役割として、「カルテ」と呼ばれる診療録は病院の宝であると言われています。そのカルテの内容をチェックし、不備な点・未記載な部分等の完成を促進する。その情報を利用し病院の診療・経営・研究・教育等に還元することと言われています。当院では、入院された方のカルテより、ICD-10（国際疾病分類）により病名登録をし、その疾患の「平均在院日数」「一日当たり医療費」等を、又ICD-9CM（手術処置コード）で手術コードを入力しています。

今後各病院導入が確実と言われているDPC（診断群分類）では、病名分類が必須となり、大変な事と予想されます。が、まだまだ知識不足の部分が多々あり、研修会等に参加し学習していかねばなりません。

地域医療連携室から

地域医療連携室 主任 上野山 勝代
岩崎 ルリ

地域医療連携室では平成17年10月1日より各種予約受付時間を一部延長しました。地域の先生方にはより一層お気軽にご利用頂ける様お願い致します。

各種予約受付時間

月・火・水・金曜日	8時45分～18時00分
木曜日	8時45分～17時00分
土曜日	8時45分～12時00分

尚、17:00以降の救急患者様は従来通り夜間救急受付にて対応させていただきます

【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成17年 8月 174件 9月 188件 10月 220件 11月 220件
のご利用頂きありがとうございました。

さわ内科医院 澤 久 先生

私は、昭和51年に大阪市立大学医学部を卒業し、同大学付属病院、日本赤十字社医療センター（東京）、市立堺病院、大野記念病院、市立泉佐野病院などで勤務し、平成7年に和歌山市吹屋町にて開業しました。その後、平成17年10月に吹屋郵便局から和歌川沿いの道に入った新留町に医院を移転しました。地域住民の方々のかかりつけ医として気軽に相談できる医院を目指しています。



済生会和歌山病院の地域連携室や先生方には大変お世話になっており、当院の患者様のいろいろな検査や診断、治療をお願いしています。また、和歌山東臨床研究会や症例検討会に参加して新しい知識を得るとともに、先生方と親交を深め、いろいろな相談ができることをうれしく思っています。今後とも病診連携を深めて、安心できる医療を提供したいと考えています。

済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成18年1月1日現在)

	内科・糖尿病代謝内科・消化器科			循環器	放射線	外科・心臓血管外科		整形外科			脳神経外科		耳鼻咽喉科	腎センター	眼科	皮膚科	
	2診	3診	4診			9診	8診	13診	14診	リハビリ	7診	8診					
月	午前	山原	佐藤	井関	木村	—	重里	川後	松崎	山崎	南	林		林	松尾 梓谷	荒井	山本
火	午前	文野	江川		山本	—	駒井	高垣	南	勝田	山崎	仲		林	松尾 梓谷	荒井	
水	午前	山原	川口		阪井	野村	重里	川後	新患診		西田	乾		医大医師	松尾 梓谷	荒井	—
木	午前	文野	江川	井関	木村	—	駒井		松崎	南	勝田	仲	林	林	松尾 梓谷	荒井	岡本
金	午前	川口	佐藤		山本	—	中村	川後	山崎	勝田	松崎	中川		林	松尾 梓谷	宮崎	—
土	午前	当番医			木村 ／ 阪井	—	特殊外来		当番医			当番医		2,4週 林 1,3週 医大医師	当番医	荒井 (第2・4)	—

肝臓病教室

場 所：済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
 時 間：午後2時～
 参 加 費：無料

糖尿病教室

日 程：毎月の第3水曜日
 場 所：済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
 時 間：午後2時～午後3時30分 (要予約)

研 修 会

第24回 和歌山東臨床研究会

- 日時 平成18年1月14日(土) 15:00～
- 場所 ダイワロイネットホテル和歌山
- 一般演題
「回復期リハビリテーション病棟について」
西田 秀樹 (済生会和歌山病院リハビリテーション科医長)
- 特別講演
「病診連携におけるリハビリの役割」
和歌山県立医科大学 リハビリテーション科
教授 田島 文博

参加ご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい

第3回 地域循環器疾患懇話会

- 日時 平成18年1月26日(金) 18:30～
- 場所 和歌山東急イン 2F「高砂」
- 演題Ⅰ「不整脈の症例提示」
済生会和歌山病院 循環器科
医長 木村桂三先生
阪井康仁先生
- 演題Ⅱ「当院における循環器疾患の栄養指導」
済生会和歌山病院 栄養管理科
技師長 仁坂美穂先生
- 演題Ⅲ「当院循環器科における連携パス」
済生会和歌山病院 循環器科
副院長 山本勝廣先生

診 療 案 内

診 察 日：月～土曜日
 受 付 時 間：午前8時45分～午前11時 (但し、予約患者様はこの限りにあらず)
 休 診 日：日・祝祭日 (年末年始)
 面 会 時 間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地 域 医 療 連 携 室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187